

第5次総合計画の前期実行計画事業として令和3年度からスタートした「チームみやしろ会議」では、町内外で活躍しているゲストのお話をきっかけに参加者同士が交流し、新たなアイデアやつながりを生み出す場として、「この人の話が聞きたい（通称：このハナ）」を開催しています。

これまでに全27回、のべ約680名にご参加いただき、「このハナ」をきっかけにさまざまな活動が行われているところです。町では、今後もキープレイヤーの発掘やつながりづくりの場の提供を継続するとともに、新たに誕生した活動の紹介などを行い、さらなる広がりを目指していきたいと考えています。



今回は、「このハナ 19」にゲストとしてご参加いただいた「ドイツパンのお店アムフルス」の山本さんと、宮代町社会福祉協議会（社協）の近藤さんにお話を伺いました。「このハナ 19」をきっかけにコラボレーションした取組をご紹介します。

【山本 毅さん】ドイツ国家認定 製パンマイスター。ドイツパンのお店アムフルスを経営。

ドイツで8年修行し、「ドイツ国家認定 製パンマイスター」を取得。ドイツでは、オーガニック農場に勤務し、「循環型農場」など様々なことを学び、自店においてもオーガニック材料を使用するなど、原材料にこだわったパンの製造販売をしている。パン製造販売のみならず、子どもから大人まで楽しめるパン教室なども開催。9月15日（月・祝）にはドイツミュンヘン市公認の「第3回みやしろオクトーバーフェスト」を開催予定。



【近藤 莉歩さん】社会福祉法人 宮代町社会福祉協議会 地域福祉担当



社協では主にボランティア担当として、様々な団体・機関、たくさんの町民の方と連携しながら、ボランティア支援・コーディネート、こどもの居場所づくり（こども食堂、こどもの居場所づくり団体支援）、地区・自治会支援、事業所支援事業等を実施。また、チラシ作成やSNS・HPを活用した広報、会計業務も担当している。

宮代社協マスコット『宮ピョン』推し。

オクトーバーフェストで地域支援学生ボランティアが活躍

「近藤さんから地域支援学生ボランティア事業の紹介を聞いて、社協ってこんな活動もしているんだ！と思いました。」

山本さんは社協の特別会員になっていましたが、近藤さんの話を聞くまでは社協の活動内容や会員特典がよく分からなかったと言います。「このハナ」をきっかけに地域支援学生ボランティアを知り、ご自身が主催する「第2回オクトーバーフェスト」で募集をしたところ、運営の協力をさせていただけることとなりました。

「男女一人ずつ応募があり、会場整理をお願いしました。どの店舗もすごい行列ができるので、とても助かりました。テント設営などの力仕事もやってもらえて。学生ボランティアの方には昼食に自店のパンを用意しました。」と山本さん。

社協が令和5年7月から始めた地域支援学生ボランティアは、LINEの登録者が60名ほどで、年間20件ほどの依頼があります。日本工業大学・宮代高校の学生は町外在住可、それ以外の高校生・大学生は町内在住であれば活動できます。応募してくれる学生は新規が多く、地域のイベントで主催者と知り合いになり、それから毎年参加する人もいます。今年の「第3回みやしろオクトーバーフェスト」にも既に応募があったそうです。



▲▼オクトーバーフェストの様子
(写真提供：ドイツパンのお店アムフルス)



新たな出会いが活動のヒントに さらに広がるつながりの輪



▲このハナ vol.19でお話しする近藤さん



▲社会福祉協議会で借りられる福祉車両
(写真提供：宮代町社会福祉協議会)

「このハナを通して、普段関わる機会の少ない層の方と接点ができました。」と近藤さん。事業所の方が登録している特別会員は、社協の貸出備品を無料で借りられるなどの特典を利用でき、アムフルスさんは昨年度のオクトーバーフェストで初めて利用されたそうです。

「町内の事業所さんに特別会員になっていただいても、社協としてどう協力ができるのか、どうコラボができるのか、イマイチ踏み込めていない状況でした。アムフルスさんと関わりが持てたことは社協としても大きな一歩だと思っています。」とお話しいただきました。

貸出備品以外にも、「福祉車両」や「福祉機器」の貸出などがあり、様々な場面で利用されています。

また、「このハナ19」に参加していた宮代高校の先生とも接点ができたようで、昨年度からボランティア体験プログラムのチラシを宮代高校で配布するなど、このハナは新しいつながりができる機会になったそうです。

ドイツパンのお店アムフルス・山本さんのこれから

「社協さんと食料品を使ったコラボができたらいいなあと
思います。例えば、ひとり親世帯の方に、ひと家族何個かパンを
選んでもらうような。」

山本さんは、『リベイク』というサイトで、ロスパンを集めて
冷凍したものを箱詰めし、販売しています。ただ、サンドイッ
チやカレーパンなどの惣菜パンはどうしても冷凍できないこと
や、日によってロスパンがないこともあるのが悩みのようです。

社会福祉協議会では夏休みと冬休みにひとり親世帯向けの『パントリー食品配布会』をしているので、
タイミングが合えばできるかもしれない・・・など、早速新たな取組が生まれようとしていました。



社会福祉協議会・近藤さんのこれから

「お店とのコラボがなかなかできていないので、毎年開催している『西原自然の森フェスタ』のように
関係団体だけで 200 人来場するような集客力のあるイベントに出店していただいたり、販売する場とし
て、『すてっぷ宮代』のイベントを活用していただけたりとすると、接点ができるかなと考えています。」

近藤さんは、地域支援学生ボランティアについても、依頼団体が固定化しているので広く依頼を受けら
れるようにしたいそうです。また、ボランティア参加者の特典が進修館 2 階ロビーにある『福祉の店 喫
茶ぶどうの樹』の割引券のみのため、町内事業者を入れるなどして特典を増やしたいとのことでした。

「宮代町内のお店で使えるといいのですが、割引チケットの利用状況をお店でチェックしていただく
必要があり、なかなか頼みづらいのが現状です。地域支援学生ボランティアもそろそろ 3 年目になるの
でいろいろ考えていきたいです。」とお話いただきました。

関連リンク

「ドイツパンのお店 アムフルス」



アムフルス

Face book



Instagram



「宮代町社会福祉協議会」



宮代町社会福祉
協議会

Face book



地域支援学生
ボランティア



第3回みやしろオクトーバーフェストのご案内

オクトーバーフェストとは、ドイツのミュンヘンで行われる世界最大のビール祭りです。
みやしろオクトーバーフェストでは、大人はもちろんのこと、子どもも楽しめるよう、芝生
エリアに「シュピールプラッツ（遊び場）」を設けています。また、1ℓのビールジョッキ
を動かさずに持ち続けるゲームや、ドイツのオクトーバーフェストでも出場経験があるヨ
ーデル歌手の出演など、企画も盛りだくさん！ぜひご参加ください。

日時 9月15日（月・祝）11時～16時

会場 コミュニティセンター進修館

